

佐倉市民オンブズマン情報 第84号

2019年4月1日 発行：佐倉市民オンブズマン TEL&FAX043-485-5999 携帯 090-9144-0676

1頁	目次 くじ引き入札急増 「藤崎良次」の紹介 今後の取り組み
2頁	定例議会概要 議会質問から 学校トイレ洋式化 佐倉市民オンブズマン 最近の活動

佐倉市民オンブズマン ふじさきりょうじ 藤崎良次

(重点地域) 佐倉地区(京成線北側)、臼井地区(京成線北側)、ユーカリ地区、志津地区

これまで、佐倉市議会議員として4期16年間活動してきました。5期目に向けて今後も、よろしくご指導をお願い致します。

1. 「藤崎 良次」の略歴

佐倉市民オンブズマン代表
 佐倉市山崎(宮前3丁目町内会)在住(69才)
 政党に無所属 佐倉市議会議員4期
 家族 妻と子供3人孫2人 HPは藤崎良次を検索→
 連絡先 携帯 090-9144-0676 Fax 043-485-5999
 Eメール fujisakir@sky.email.ne.jp



市議 藤崎良次



千葉県印旛郡栄町生まれ。千葉工業高校、千葉工業大学、放送大学(社会と経済)を卒業し、放送大学大学院修了(2008年)

千葉工業大学卒業後会社員となり、1977年から市内本町に住み、1995年から市内山崎(宮前3丁目町内会)に在住。

これまで、保育園父母の会会長、小学校PTA副会長、学童保育クラブ会長、住民訴訟原告団長、市民オンブズマン連絡会議事務局長などを務める。市議会4期の間に、各常任委員会委員、都市計画審議会委員、衛生組合議員、消防組合議員などを務める。

2. 「藤崎 良次」のめざすもの

市民オンブズマンは行政苦情を解決し、人権を保護し、行政の適正運用のために行動し、税金の無駄使いを防ぎます。

藤崎は、これまでの活動実績をもとに税金を有効に活用し、豊かな市民生活の実現を目指します。

- ① 情報公開を進めます。政策形成過程を含めた情報公開を進め、望ましい市政運営に市民が参加発言できるように取り組みます。
- ② 子育て支援、高齢者福祉、障害者福祉、防災、環境保全、教育問題、ハラスメントの防止、公益通報の拡大に取り組みます。
- ③ 発注に関しては、最小の経費で最大の効果を発揮することを目指し、市民の税金を有効に活用します。談合は許しません。
- ④ 市民からの各種相談に積極的に対応します。

H30年度には、市職員の車通勤費を年額2200万円削減、小中学校エアコン工事では国補助金活用を要請し6.4億円の市財政負担軽減となりました。これまで、職員給与の適正化、入札の適正化、官官接待の防止、市議の海外視察旅行取りやめ、市議政務活動費のHP公開、学童保育の拡充などを実現してきました。今後も、一層推進いたします。

オンブズマンとは

「行政苦情の解決や行政の適正運用、人権保護のために行動する人」です。

各種の御相談は下記連絡先にどうぞ。一緒に活動できる方も募集しています。



今後、よろしくご指導をお願い致します。

公益通報の拡大等も通じ、暮らしやすい落ち着いた生活、子育てしやすい環境、平和で安全な社会、健康的な働きやすい職場などの実現にまい進してゆきます。皆さまからのご意見を頂き、行動してゆきます。

くじ引き入札はさらに増加

市は、H30年度より入札制度を見直し、最低制限価格を上げ、その結果、その価格での同額入札が増加。くじ引き入札(同額入札のため、「くじ引き」で落札者を決定する)件数が大きく増加して、高価格発注となり市の財政を圧迫している。

最近の市財政の動き(表1参照)は、①市職員の車通勤費の削減(年間2200万円)、公民館有料化(同1000万円)、使用料手数料値上げ(同2200万円)、学校エアコン事業による地方交付税の交付(同2700万円)などがある。

項目	金額万円	備考
職員の車通勤費削減	2,200	H30年度以降
エアコン地方交付税	2,700	13年間継続
公民館有料化	1,000	収入増
使用料手数料値上げ	2,200	収入増
合計	8,100	

その他項目	金額	備考
くじ引き入札	1.5億円	推定支出増年額
エアコン補助金	2.9億円	H31年度歳入
新年度消費税増	1.9億円	収入増3か月分

年度	落札価格上昇推計(億円)		
	市長部局	上下水道部	合計
H27	1.5	0.9	2.4
H28	1.5	0.7	2.2
H29	1.6	0.8	2.4

年度	入札でのくじ引き件数	
	市長部局	上下水道部
H28	26	16
H29	26	20
H30	86	40

「くじ引き入札」急増で福祉削減
 市の新年度予算は、市長選前の骨格予算(政策分除)として決定された。しかし、入札価格上昇で市民の福祉が削られる。最近の財政負担減・収入増は、表1にあるように職員車通勤費削減等がある。一方、市の入札においては、くじ引き入札が増加し、5億円程度の価格上昇(年額)が推定されている。このように、くじ引き入札の価格上昇額が大きく、負担増となっている。結局、市民の福祉が削られることになる。

(合計8100万円)。
 一方、入札は1.5億円程度の価格上昇(表2)が推計されており、負担増となっている。くじ引き入札は急増(表3)しており、安く購入できない。以上からも、くじ引き入札は市財政に極めて悪い影響を与えている。この改善について、佐倉市民オンブズマンは一般質問でも取り上げているが、市の対応は迅速ではない。

くじ引き入札 大幅増
 表3のごとく、くじ引きは大幅に増えており、佐倉市にとって危機的である。特に、工事関係にて多くの「くじ引き入札」が発生しており、「最小の経費で最大の効果を上げる」(地方自治法)状態になっていない。

今後、それらと共に、各種相談への対応、人権の保護、災害対策、少子高齢化対策、格差是正、再生可能エネルギーの推進、市民主権の政治を目指した活動を引き続き実行してゆきます。

私達はこれまで市民オンブズマンとして、情報公開を進め、税金の無駄使いを防ぎ、税金の有効活用に取組んできました。

佐倉市民オンブズマン 今後の取り組み

オンブズマンとは、「行政苦情の解決、行政の適正運用、人権保護のために行動する人」です。

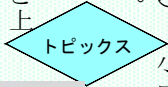
定例議会概要

2~3月の議会では学校のエアコン設置補正予算が可決された。国補助を活用し、6・4億円の財政負担軽減となった。当初、佐倉市は補助金を活用しない財政方針であったが、市債を発行し分割払いを止めて、一括払いとして国補助を受ける。早期に工事着手するために、開会当日に可決された。

①新年度予算は、骨格予算として提案された。岩名運動公園の陸上競 発電機設置 技場に夜間照明が設備された。そこで、利用者から1回150円を徴収しようとするものである。しかし、未成年や学生に 対する割引等がない。ちなみに、プールについては大人(480円)、小中は大人(150円)。

②都市公園条例改正 消費税引き上げに伴うプレミアム商品券発行、高齢者福祉施設への非常用

③補正予算 ④市議会議場に国旗、市旗を掲揚する決議 ⑤学童保育の質確保は必要であり賛成した。



佐倉市議 藤崎 良次

議案賛否一覧表 賛成○ 賛成少数△ 反対× 主な議案

議案種類 提出者 件数 主な内容(数字は否決された議案) 可決数

2~3月議会の質問から

入札制度を改善し、子育て支援を

保育園の待機児童は、年度末に最低となる「年度当初が一番少なくて、年度末に多くなり127人である」。さらに、市全体では保育可能人数が保育需要以上である。子育ては、災害対策に、市全体では保育可能人数が保育需要以上である。保育園の上であっても、待機児童がある場合が多い。

学校トイレは一斉洋式化を

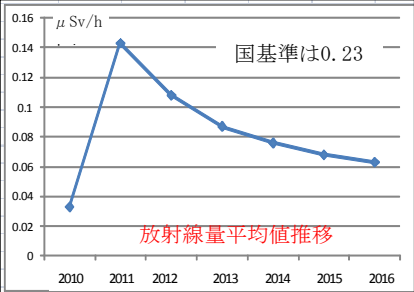
市では、学校の大規模改修に合わせてトイレの洋式化を進めている。2122台のトイレのうち約40%の857台が洋式化されている。藤崎の質問に対する教育長の答弁は、「大規模改修時のトイレ洋式化では20年かかる」

選挙とコンプライアンス(法令順守)

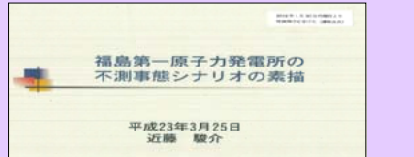
有権者は違反する者に投票をしない。違反をしたら、有権者の利益にならないからだ。即ち、違反者は仮に予定者に文書を送付して、選挙違反を防ぐようにしているが効果は少ないようだ。効果のある方法は、有権者(市民)が公職選挙法の違反についてよく知ることと思う。

佐倉市民オンブズマン最近の活動

佐倉市内平均空間放射線量グラフ作成



内閣府から情報開示HP公開中(15頁) 原発不測事態シナリオ



市職員車通勤費年額2千万削減

佐倉市職員給与の是正 市職員の車通勤費は、基準としている千葉県職員より、月額3千円高い状態であった。佐倉市民オンブズマンは、この是正を強く求めた結果、H30年4月より、千葉県並みとなり、年額約2200万円が削減された。

たばこの害 厚生労働省の調査報告「喫煙と健康」(H28)では、年間の喫煙死亡者数は、間接喫煙を含めると約15万人と推定されている。この調査は市民には良く知られておらず、大きな問題である。佐倉市の推計については下表参照。

Table with 3 columns: タバコの主な指標, 佐倉市, 全国

市財政負担6億4千万円減

エアコン設置事業での財政負担減少 佐倉市の小中学校等エアコン設置事業について、佐倉市民オンブズマンは、国の補助金活用を要請した。市は、市の財政方針として、エアコン事業をPFI(民間資金活用)の分割払い方式で実施を計画していた。分割払い方式のため、国の補助は受けられない状態であった。そこで、佐倉市民オンブズマンは一括払いにして国補助を受けるべきであると要請した。その後、市は一括払いを検討し国補助を受けることになった。本紙前号でもお知らせしたように、2・9億円の補助金と、市債(13億円)への地方交付税(5億円)を受け取ることになった。よって、合計6・4億円の市財政負担の軽減となった。負担軽減分を子育て支援等に使うべきだ。